



ふくほうのシンボルマーク

グリーン三角は地域の発展を示し、白とグリーンで円を描いている部分は、皆様と当行のふれあいを表しております。この三角と円のハーモニーによって全体にイメージされる「F」のデザインは、地域と皆様の繁栄に貢献し、未来永久に幸せをもたらしていきたいという当行の決意を示しております。

The Fukuho Bank, Ltd.

発行／平成21年6月
編集／株式会社 福邦銀行 企画部
〒910-0023 福井市順化1-6-9
TEL／0776-21-2500(代表)
<http://www.fukuho.co.jp>

第101期 営業のご報告 [ミニ・ディスクロージャー誌]

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで





平成21年6月

取締役頭取 三田村俊文

日頃は福邦銀行をお引き立ていただき誠にありがとうございます。このたび、当行の経営方針や業績の概要などをまとめました第101期営業のご報告〔ミニ・ディスクロージャー誌〕を作成いたしました。ご高覧賜れば幸いです。

さて、平成21年3月期決算におきましては、米国の金融危機に端を発した世界的な経済環境の悪化により福井県内経済におきましても景気減速傾向が一層強まるなど経営環境が厳しさを増してまいりました。このような環境下、当行グループは平成21年3月に金融機能の強化のための特別措置に関する法律(改正金融機能強化法)に基づき、株式会社整理回収機構様を引受先とする優先株式60億円の発行を実施いたしました。

株主の皆様、並びにお取引先の皆様をはじめ地元のお客様には、多大なるご支援とご理解をいただきましたこと心から厚くお礼申し上げます。

当行は創業以来、地域社会への貢献を経営理念としております。このたびの財務基盤の強化を背景として、経営強化計画「お客様感動への挑戦」に基づいた様々な施策を確実に実践し、常にお客様の立場になって考え行動することを原点に「お客様から相談され、個性が光る存在感のある銀行」を目指してまいります。

引き続き役職員一同、全力を投入して地域金融機関としての使命を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール (平成21年3月末現在/単体ベース)

名称	株式会社 福邦銀行 THE FUKUHO BANK,LTD.
本店所在地	福井市順化1丁目6番9号
創立	昭和18年11月5日
資本金	73億円
総資産	4,422億円
預金	4,173億円
貸出金	3,395億円
自己資本比率	9.50% (国内基準)
店舗数	44カ店
従業員数	601名

もくじ

ごあいさつ、プロフィール	1
経営強化計画、経営理念	2
業績ハイライト	3
地元中小企業のお客様に対する金融の円滑化への取り組み	5
地域密着型金融の推進	6
金融サービスの向上	7
地域の皆様とともに	9
経営強化計画について	10
連結財務諸表	11
財務諸表	12
株式のご案内、株主優待について	13
店舗一覧、お問い合わせ先一覧	14

お客様感動への挑戦

目指す銀行像

お客様から相談され、個性が光る存在感のある銀行

基本方針

独自性とスピードによる経営強化

運動指針

{C.S.} 運動の推進=お客様との接点重視とフォローアップ

{C.S.} 運動とは

お客様と多くの接点を持ち、相談される存在となり、しかも速やかに問題を解決して満足していただく運動
 Customer Contact Consultation Speed Solution Satisfaction
 {C.S.} は「C」と「S」の集まり
 CS〔お客様満足〕(Customer's Satisfaction)

重点課題

「収益力の強化」

- 全員営業による中小企業・個人取引の拡充
- 顧客接点の増強と商品・サービス提供力の強化
- 業務の抜本的な見直しによる業務の効率化
- 経営効率化と収益管理の強化

「組織力の発揮」

- 全体最適を目指した仕組みづくり
- 組織・制度の改革と人材育成
- スピードを持って行動するシステムの構築

「ガバナンス態勢の強化」

- コンプライアンス態勢の強化
- リスク管理の高度化
- 内部統制態勢の堅確化

「財務基盤の安定化」

- ◆ 自己資本の充実による財務基盤の強化
- ◆ トップライン収益とボトム収益の強化
- ◆ 与信コストの安定化

経営理念

地域社会への貢献

私どもは幸せな人間生活と豊かな社会づくりに貢献することを銀行活動の使命とします。

健全なる経営

銀行の発展は、地域社会への貢献の証しであり、私どもの存在を可能とするため、より健全な経営に心がけます。

活力ある職場

私どもが人間として尊厳を勝ちとるための練成の場として、明るく活力ある職場づくりに努めます。

福邦の心

至誠の心

信頼の絆と責任を自覚し、お客様にまごころを尽くします。

和の心

お互いの立場を理解し、喜びを分かち合う心を育てます。

進取の心

変化に対応する熱意と挑戦する心を養います。

共存共栄の心

お客様第一に徹し、共存共栄の心で奉仕します。

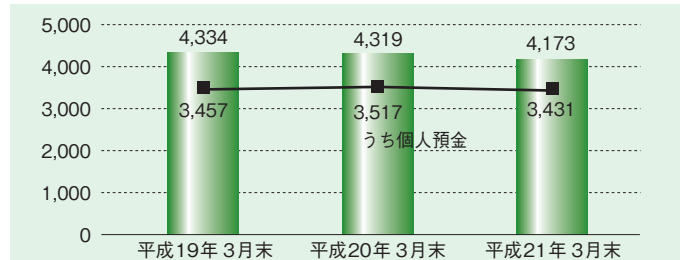
業績ハイライト

預金等の状況（単体）

預金は、個人預金、法人預金等が減少したことから、期末残高は前期末比145億62百万円減少して4,173億45百万円となりました。預かり資産は、金融市場の混乱により投資信託が減少し、国債が増加したものの50億円減少の312億円となりました。

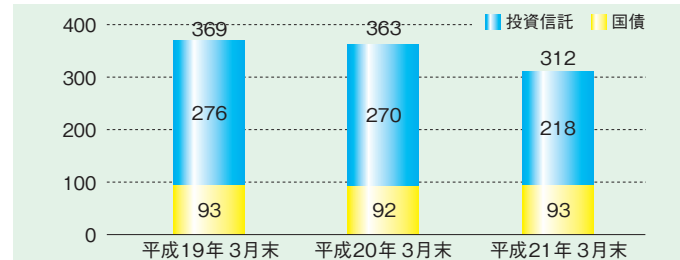
預金残高の推移

(単位：億円)



預かり資産残高の推移

(単位：億円)

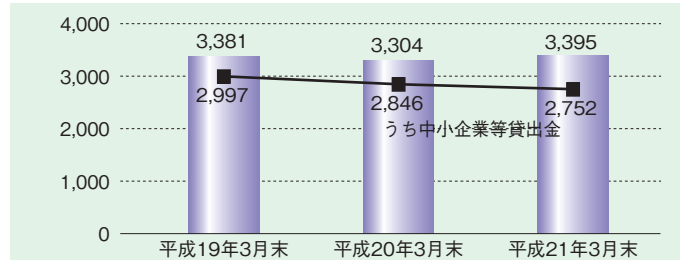


貸出金の状況（単体）

貸出金は、消費者ローンは減少したものの、事業性貸出が増加したことから期末残高は前期末比90億35百万円増加して3,395億35百万円となりました。

貸出金残高の推移

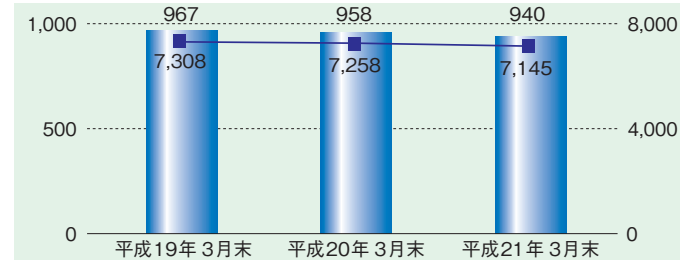
(単位：億円)



住宅ローン残高・件数の推移

(単位：億円)

(単位：件)



(注) 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円）以下の会社または常用する従業員が300人（ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人）以下の会社および個人です。

損益の状況（単体）

経常収益は、有価証券関係収益および貸出金利息収入が減少した結果、前期比10億29百万円減少の109億17百万円となりました。銀行本業部分の収益を示すコア業務純益は、経費の削減に努めましたが、預貸金利ぎやの縮小により前期比4億93百万円減少し、14億14百万円となりました。経常利益は、コア業務純益は減少したものの、前期に予防的貸倒引当金を積み増したことが奏功し、不良債権処理額が大幅に減少したことにより、前期比57億39百万円改善し、△9億18百万円の損失となりました。当期純利益は、店舗の減損処理と、繰延税金資産を一部取崩した結果、△20億2百万円の純損失（前期比46億58百万円改善）となりました。

用語解説（コア業務純益）

銀行本来の業務であげた利益から、業務を行う上でかかった経費と一時的な変動要因(債権関係損益と一般貸倒引当金繰入額)を差し引いたものです。

コア業務純益

(単位：百万円)

平成19年3月末	2,904
平成20年3月末	1,908
平成21年3月末	1,414

経常利益

(単位：百万円)

平成19年3月末	562
平成20年3月末	△ 6,658
平成21年3月末	△ 918

当期純利益

(単位：百万円)

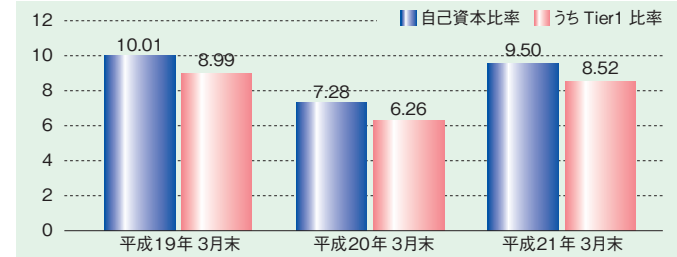
平成19年3月末	50
平成20年3月末	△ 6,660
平成21年3月末	△ 2,002

自己資本比率の状況（国内基準）

自己資本比率は銀行の安全性・健全性を示す重要な指標のひとつです。当行のように海外に支店を持たない銀行は国内基準の4%以上が義務付けられております。平成21年3月末のリスク・アセット（万一の場合、貸倒れの危険性のある資産）に対する自己資本の額は銀行単体199億円、連結は204億円、自己資本比率は単体9.50%、連結9.70%、Tier1比率では単体8.52%、連結8.72%となっております。経営強化計画の諸方策の確実な実践により、引き続き内部留保を積み上げてまいります。

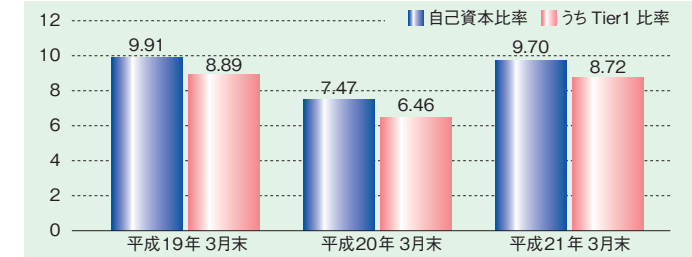
(単体)

(単位：%)



(連結)

(単位：%)

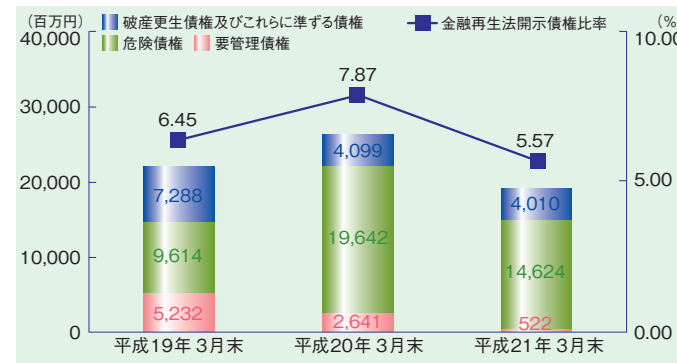


不良債権の状況

当行は、貸出金などの資産の価値に対して厳しく査定を行い適正な償却・引当を実施しております。また、積極的にお取引先に対する経営支援を強化しております。平成21年3月末の金融再生法開示債権は前期比72億円減少の191億円となりました。

なお、金融再生法開示債権191億円には、担保保証のほか、将来的に損失を被ることに備え、すでに費用として引当てしている部分も含まれております。開示債権に対する保全額は176億円、保全率は92.20%あり、将来的な損失にも十分に備えております。

金融再生法に基づく開示債権額、比率



(単位：百万円)

	平成19年3月末	平成20年3月末	平成21年3月末
金融再生法開示債権合計	22,135	26,383	19,157
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,288	4,099	4,010
危険債権	9,614	19,642	14,624
要管理債権	5,232	2,641	522
保全額	17,806	22,880	17,663
貸倒引当金	4,912	8,315	6,533
担保保証等	12,893	14,564	11,129
総与信残高（未残）	343,148	335,163	343,745

地元中小企業のお客様に対する金融の円滑化への取り組み

当行は、地域金融機関として地域密着型金融を推進し、地元中小企業の皆様に対する円滑で適正な信用供与を通じて地元経済の発展に貢献してまいります。

【具体的な取組み】

- 事業者ローン「勇士2000」や「ふくほうプライムサポート」、ABL（資産担保貸出、動産・流動資産を活用した融資手法）、機械設備を担保とした「機械担保ローン」などの取り扱いによる担保・保証に過度に依存しない融資推進
- 行員の目利き能力（融資審査能力）向上のため中小企業診断士やFP技能士など人材育成
- 法人営業部による情報収集や資金需要に対するご相談やご提案
- 中小企業融資推進室等による本部サポート体制の整備
- 財団法人ふくい産業支援センターと連携した移動相談会の実施
- 地元大学との連携を強化し、大学が保有する技術情報と地元企業のマッチングに関する支援
- 企業経営支援室による経営改善活動のサポート
- ビジネス商談会の開催によるビジネスチャンス創出
- ご融資先との関係強化と新たなご融資先への訪問運動として全店で6000先訪問キャンペーンに取り組んでおります。



ビジネス商談会

ふくほう財務診断サービスのご案内

中小企業のお客様の企業経営支援の一環として「中小企業経営診断システム（MSS）」を利用した簡易な診断サービスを開始いたしました。ご利用料は無料です。くわしいサービスにつきましては当行本支店または営業担当者までお気軽にお申し付けください。

※なお、財務診断の結果は、融資の審査の判定に用いるものではなく、あくまでお客様の財務状況の把握、経営改善に活用していただくことを目的としたものです。また、数値は絶対的なものではなく、ひとつの目安としてください。

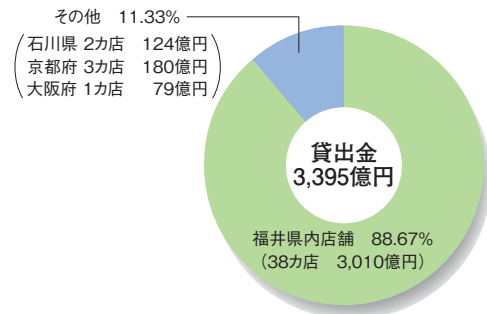


融資のご提案

地域の皆様へのご融資

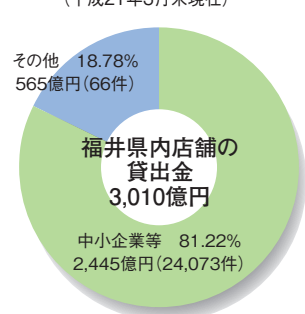
店舗所在地別の貸出金状況（単体）

（平成21年3月末現在）



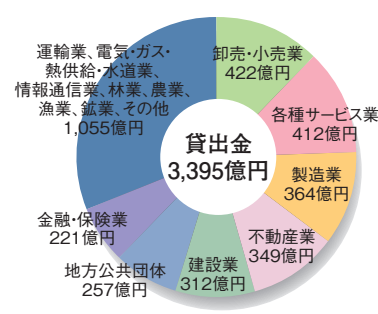
福井県内店舗の貸出金に占める中小企業等貸出金の状況（単体）

（平成21年3月末現在）



業種別貸出金の状況（単体）

（平成21年3月末現在）



地域密着型金融の推進

当行では創業来、お客様との間で長く続いた親密な関係を強化・維持し、ニーズに応じた金融サービスを提供する地域密着型金融の推進を基本としております。平成20年4月からは「地域密着型金融推進計画」を中期経営計画と一体化し恒久的な取組みとして推進してまいりました。平成21年4月からは経営強化計画と一体化して積極的に推進してまいります。

地域密着型金融の取組み状況（平成20年4月～平成21年3月）

1. 大項目毎の取組み状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の一層の強化
 - 創業、新事業支援の一層の強化に向け、ふくい産業支援センターと連携した移動相談会の開催（福井市、鯖江市、坂井市、小浜市の4回）を行い24件、3億8千万円の融資実行をいたしました。
 - 経営改善支援について、企業間格差・地域間格差がある現在では、より一層取引先の経営支援が必要であると考え、7月にCRD協会再生支援ソフト（CSS）を導入、また企業経営支援室の人員を増員し取組み強化を図りました。
 - 事業再生支援について、中小企業再生支援協議会を介することで、経営者の意識改革を促しより企業再生への実現性を高めることができると考え、当行主導先8先を含む16先でモニタリングを行い、うち当行主導先1先を含む3先にて当協議会を活用し融資実行いたしました。
 - 事業継承支援について、少子高齢化社会を迎え経営の継承問題も大きな社会問題となっていることを背景に、取引先支援の一環として取組みをし2件の実績（20年度）となりました。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
 - 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資への取組みについて、中小企業金融の円滑化を図るため担保・保証に頼らないスキームの態勢を整備し、無担保融資81億円実行（20年度目標60億円）し目標達成しました。しかし内訳では58億円がシンジケートローン実行と大半を占めており、より中小企業に合った商品改定等を行い、推進強化することが必要であると考えております。
 - 「目利き機能」の発揮に向けた取組みについて、経営支援の能力向上や事業再生、中小企業金融の円滑化に向けた人材育成が喫緊の課題と考え、中小企業診断士養成過程へ1名派遣及びFP2級技能士合格者18名輩出いたしました。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
 - 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組みについて、販路開拓、仕入先・提携先紹介を求める取引先の「出会いの場」を提供することで、取引先企業や地域の活性化に寄与すると考え、21年3月に第3回ふくほうビジネス商談会を開催し（来場企業166社、参加人数250名、商談件数125件）現在フォローアップ中となっております。
 - 地域活性化につながる多様なサービスの提供について、お客様とのリレーションシップバンキングの強化、地域における金融知識の普及や情報交換の場を提供すること、多様化するお客様のニーズに則した各種サービスの提供を行うことを目的とし、税務相談会24回、年金相談会74回、他地域別交流会、セミナー等13回開催いたしました。
 - 地域貢献への取組み推進について、少子高齢化社会が進み地域の経済力が縮小することは、地域金融機関にとっても大きな問題であり、地域の子育て家庭を金融面から応援することで、地域の発展に役立ち、企業としての社会的責任を果たしたいと考え、「子育て応援バンク」を推進。子育て応援定期預金、住宅ローン「子育て金利割引制度」等を中心に取組み推進いたしました。

2. 達成状況（目標計数項目）

	指標	平成20年度実績	<参考>平成21年度目標
ライフサイクルに応じた支援強化	経営改善支援取組み率	9.4%（=120先/1,266先）	5%以上
	再生計画策定率	55.8%（=67先/120先）	50%以上
	ランクアップ率	18.3%（=22先/120先）	20%以上
	創業・新事業支援融資実績	24件（3億8千万円）	30件以上
中小企業に適した資金供給手法の徹底	個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	取組実績81億円	60億円以上

金融サービスの向上

■ 新型店舗の展開

社支店(福井市測)の既設店舗の敷地を拡大し平成21年3月、新築オープンいたしました。ご融資や投資信託・保険商品などのご相談を承る資産相談専用コーナーとしてローカウンターとコンサルティングコーナーを備えております。同コーナーは、お客様が安心してゆっくり承ることができるようにプ



新しくなった社支店

ライバシーへの配慮とくつろぎ感に工夫を凝らしております。ロビーは年金などのセミナー会場としても利用を予定しております。また、お待ちの間もくつろいでいただけるよう大型ディスプレイによるテレビ放映や無料ドリンクコーナーを備えております。



資産相談専用のローカウンター

■ 情報拠点の充実

ゆめプラザ四ッ居には、ゆっくりおくつろぎいただけるご相談コーナーや小さなお子様用スペースを設置しております。たとえば休日を利用してご家族おそろいでお越しいただき、住宅ローン・投資信託・年金のお受け取りといった幅広いご相談を各専門スタッフが承ることもできます。また、ご来店だけでなくお客様のところに専門スタッフが出向いてご相談を承る活動にも力を入れ、地域のお客様の幅広いご要望にきめ細かくお応えしております。

取扱業務：住宅ローンや教育ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、個人年金保険、年金お受け取りに関するご相談・アドバイス業務など

住所：福井市北四ッ居3-15-66

フリーダイヤル：0120-683-294

営業時間：平日 9:00~19:00 (毎週水曜日定休)
土・日・祝日 10:00~17:00



ゆめプラザ四ッ居では専門スタッフがご相談を承ります。

■ ATMネットワークの充実

お客様の利便性向上を目指し、ATMネットワークの充実に取り組んでおります。平成20年7月にイオン銀行とのATM提携を行いました。当行のキャッシュカードは全国のジャスコ・マックスバリュなどに設置されているイオン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます(出金のみ)。

コンビニATMではセブン銀行とATM利用提携し、全国のセブン-イレブンなどに設置されているセブン銀行のATMを利用手数料無料でご利用になれます(入出金)。そのほかローソン、ファミリーマート、サークルK、サンクスなどに設置されている各ATMもご利用になれます(利用手数料がかかります)。

■ 福邦ICキャッシュカードにクレジット機能をプラス

磁気ストライプのキャッシュカードに、偽造や不正な読取が困難なICチップを搭載したICキャッシュカードと、キャッシュレスでショッピングができて分割払いも可能なUCクレジットカードとの一体型カードを取扱いしております。



■ 多機能プラザ(愛称ゆめプラザ)増設のお知らせ(予定)

地元のお客様とより一層接点を強化しニーズにスピーディに対応するため、ゆめプラザ福井駅前(福井市)・ゆめプラザ武生北(越前市)・ゆめプラザ敦賀西(敦賀市)を増設いたします(平成21年7月予定)。従来のゆめプラザの業務である住宅ローンや教育ローンなどローン全般、投資信託、

■ ATMで定期預金のお預け入れが可能に

個人のお客様向けに総合口座通帳を利用したATMによる定期預金のお預け入れが可能になりました。取扱い開始を記念して金利上乘せキャンペーンを実施しております(一部のATMを除きます)。(キャンペーン実施期間：平成21年5月11日から同12月31日まで)

■ カードローンBESPA(ベスパ)

お客様の様々な資金ニーズに対応するため、お使いみちが自由な個人向けローン商品「ふくほうカードローン『BESPA(ベスパ)』」を取扱っております。

※商品・サービスの詳細につきましては当行本支店または営業担当者までお気軽にお問い合わせください。

地域の皆様とともに

投資信託商品「福井県応援ファンド」の取扱い

福井県に関連する企業の株式に投資し地元経済の発展を応援する投資信託商品「福井県応援ファンド」を取扱いしております。

信託報酬の一部から毎年、日本赤十字社福井県支部の活動資金として寄附を行っております。平成21年2月には寄附金205万円を贈呈し、累計では712万円となりました。



福邦カップ争奪ゲートボール大会の開催

地域のお客様の交流や健康づくりにお役立ていただくため福邦銀行に名前が変わって20年目と創業65周年を記念して平成20年7月から11月にかけて「第1回福邦カップ争奪ゲートボール大会」を開催いたしました。



約1,000名のご参加をいただきました

子育て応援バンクの取組み

少子化問題に対応するためCSR活動の一環として「子育て応援バンク」を宣言し、地域のお客様の子育てを金融面から応援する取組みを行っております。

住宅ローン子育て金利割引制度、子育て応援定期、子育て応援に積極的な企業のお客様向け事業性融資商品の金利割引の取扱いのほか、金融経済教育「親子マネー教室」の開催にも取り組んでおります。

なお、当行は福井県が推進する「子育て応援プラスワン宣言企業」、福井市が推進する「子育てファミリー応援企業」に登録しております。



子育て応援バンクマーク



福井県と共催した親子マネー教室「お金ってなーに？」

環境への配慮

温室効果ガスの排出削減を目指す国民運動「チーム・マイナス6%」に参加し、夏季の28℃室温設定やクールビスなどに取り組んでおります。また、LPガス住宅ローンやオール電化住宅ローン、マイカーローンの金利割引サービスにエコカー購入対象を条件に設定するなどお客様の環境配慮への対応を金融面から応援する取組みを行っております。

女性プロジェクトチームTiaraの取組み

地域のお客様の満足度向上とワーク・ライフバランスなどを目的とした女性プロジェクトチームTiara（ティアラ）が活動しております。

経営強化計画について

目標とする経営指標

平成21年3月に受けた公的資金による財務基盤の強化を背景として、経営強化計画に基づいた様々な施策に積極的に取り組んでまいります。その中での経営改善の目標値として、収益性においてはコア業務純益ROAの向上、業務の効率性においては業務粗利益経費率の改善を掲げ、活動を進めてまいります。

(1) 収益性を示す指標 (単位：%)

	平成23年3月期計画
コア業務純益ROA	0.40

※コア業務純益ROA = コア業務純益 / 総資産平残

(2) 業務の効率性を示す指標 (単位：%)

	平成23年3月期計画
業務粗利益経費率	64.80

※業務粗利益経費率 = (経費 - 機械化関連費用) / 業務粗利益

経営諮問委員会の設置

当行では、取締役会の諮問機関として経営諮問委員会を設置しております。外部有識者の方から、地域への信用供与の円滑化や地域経済活性化に向けた経営戦略など、客観的な立場で評価および助言・提言をいただきます。助言等は経営に反映することで経営の客観性と透明性を高めてまいります。

〈構成委員〉

委員名	公職・役職等
児嶋 眞平	京都大学名誉教授、福井大学名誉教授、前福井大学学長
増田 仁視	福井経済同友会代表幹事、増田公認会計士事務所所長
山本 雅俊	前福井県副知事、元財団法人ふくい産業支援センター理事長

(五十音順、敬称略)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

第101期連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成21年3月31日現在) (単位: 百万円)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け	13,348
コールローン及び買入手形	545
商品有価証券	0
有価証券	84,669
貸出金	340,339
外国為替	379
その他の資産	1,736
有形固定資産	5,366
建物	1,209
土地	3,795
リース資産	69
その他の有形固定資産	292
無形固定資産	247
ソフトウェア	62
のれん	0
リース資産	152
その他の無形固定資産	32
繰延税金資産	2,044
支払承諾見返	2,489
貸倒引当金	△ 8,666
資産の部合計	442,499
(負債の部)	
預金の他負債	416,354
賞与引当金	3,357
退職給付引当金	158
役員退職慰労引当金	1,105
睡眠預金払戻損失引当金	226
利息返還損失引当金	42
偶発損失引当金	3
再評価に係る繰延税金負債	64
支払承諾	797
支払承諾	2,489
負債の部合計	424,598
(純資産の部)	
資本金	7,300
資本剰余金	6,256
利益剰余金	4,981
自己株式	△ 203
株主資本合計	18,334
その他有価証券評価差額金	△ 1,363
土地再評価差額金	928
評価・換算差額等合計	△ 434
少数株主持分	1
純資産の部合計	17,900
負債及び純資産の部合計	442,499

連結損益計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (単位: 百万円)

科 目	金 額
経常収益	11,185
資金運用収益	9,208
貸出金利息	8,118
有価証券利息配当金	1,034
コールローン利息及び買入手形利息	51
預け金利息	2
その他の受入利息	1
役員取引等収益	1,363
その他業務収益	416
その他経常収益	196
経常費用	11,932
資金調達費用	1,503
預金利息	1,490
コールマネー利息及び売渡手形利息	1
その他の支払利息	11
役員取引等費用	962
その他業務費用	943
営業経費	6,614
その他経常費用	1,909
株式等売却損	395
株式等償却	1,042
その他の経常費用	471
経常損失	747
特別利益	866
固定資産処分益	3
貸倒引当金戻入益	840
償却債権取立益	2
その他の特別利益	18
特別損失	542
固定資産処分損	18
減損損失	524
その他の特別損失	0
税金等調整前当期純損失	424
法人税、住民税及び事業税	38
法人税等調整額	1,547
法人税等合計	1,585
少数株主損失	0
当期純損失	2,010

第101期財務諸表 (単体)

貸借対照表 (平成21年3月31日現在) (単位: 百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け	13,347	預金	417,345
現金	5,651	当座預金	10,915
預け金	7,695	普通預金	107,819
コールローン	545	貯蓄預金	1,857
商品有価証券	0	通知預金	1,268
商品国債	0	定期預金	282,285
国債	36,433	定期積金	10,086
地方債	7,290	その他の預金	3,112
社債	24,846	その他負債	2,580
株式	2,195	未払法人税等	38
その他の証券	14,291	未払費用	1,331
貸出金	339,535	前受収益	342
割引手形	9,553	従業員預り金	278
手形貸付	29,072	給付補てん備金	16
証書貸付	273,262	金融派生商品	40
当座貸越	27,646	リース債務	243
外国為替	379	その他の負債	288
外国他店預け	379	賞与引当金	150
その他資産	1,443	退職給付引当金	1,105
前払費用	5	役員退職慰労引当金	226
未収収益	482	睡眠預金払戻損失引当金	42
金融派生商品	44	偶発損失引当金	64
その他の資産	911	再評価に係る繰延税金負債	797
有形固定資産	5,364	支払承諾	2,489
建物	1,209	負債の部合計	424,800
土地	3,795	(純資産の部)	
リース資産	67	資本金	7,300
その他の有形固定資産	292	資本剰余金	6,256
無形固定資産	245	資本準備金	6,256
ソフトウェア	61	利益剰余金	4,510
リース資産	152	利益準備金	874
その他の無形固定資産	32	その他利益剰余金	3,635
繰延税金資産	2,041	別途積立金	5,309
支払承諾見返	2,489	繰越利益剰余金	△ 1,673
貸倒引当金	△ 8,220	自己株式	△ 203
資産の部合計	442,230	株主資本合計	17,863
		その他有価証券評価差額金	△ 1,363
		土地再評価差額金	928
		評価・換算差額等合計	△ 434
		純資産の部合計	17,429
		負債及び純資産の部合計	442,230

損益計算書 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで) (単位: 百万円)

科 目	金 額
経常収益	10,917
資金運用収益	9,173
貸出金利息	8,083
有価証券利息配当金	1,034
コールローン利息	51
預け金利息	2
その他の受入利息	1
役員取引等収益	1,132
受入為替手数料	417
その他の役員収益	714
その他業務収益	416
外国為替売買益	11
商品有価証券売却益	1
国債等債券売却益	359
金融派生商品収益	44
その他経常収益	194
株式等売却益	106
株主資本剰余金	0
その他の経常収益	87
経常費用	11,835
資金調達費用	1,501
預金利息	1,490
コールマネー利息	1
その他の支払利息	9
役員取引等費用	921
支払為替手数料	79
その他の役員費用	842
その他業務費用	943
国債等債券売却損	444
国債等債券償還損	19
国債等債券償却	478
営業経費	6,572
その他経常費用	1,896
貸出金償却	12
株式等売却損	395
株式等償却	1,042
その他の経常費用	446
経常損失	918
特別利益	1,023
固定資産処分益	3
貸倒引当金戻入益	1,000
償却債権取立益	2
その他の特別利益	16
特別損失	542
固定資産処分損	18
減損損失	524
その他の特別損失	0
税引前当期純損失	438
法人税、住民税及び事業税	20
法人税等調整額	1,544
法人税等合計	1,564
当期純損失	2,002

株式のご案内

- 事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 株主総会**
定時株主総会は毎年4月1日から3ヵ月以内に招集し、臨時株主総会は、必要があるときにこれを招集いたします。
- 定時株主総会の基準日**
定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。
- 剰余金の配当の基準日**
期末配当の基準日は毎年3月31日といたします。
中間配当を行う場合には、毎年9月30日を基準日といたします。
- 単元株式数**
単元株式数は、1,000株といたします。
- 株式事務取扱場所**
 - 株主名簿管理人
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
 - 同事務取扱場所
大阪市中央区北浜二丁目2番21号
中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
 - 郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部（証券代行事務センター）
 - 同取次所
中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店
株式会社福邦銀行 本店および各支店
- 公告方法**
福井市において発行する福井新聞に掲載いたします。

株主優待について

平成21年3月31日現在の1単元（1,000株）以上保有の株主に次の株主優待を実施しております。

- ①金利上乘せ定期預金
- ②粗品進呈

店舗一覧

（平成21年5月末現在）

福 井 県			
本松	支店	(0776)21-2500	
幾久	支店	(0776)23-0880	
日の出	支店	(0776)21-2830	
新田	支店	(0776)26-2400	
若塚	支店	(0776)23-4011	
堀杉	支店	(0776)35-0700	
成宮	支店	(0776)21-5700	
高和	支店	(0776)21-6360	
森木	支店	(0776)53-3500	
社田	支店	(0776)56-3170	
花堂	支店	(0776)34-2190	
開発	支店	(0776)34-2870	
春日	支店	(0776)53-6600	
くし野	支店	(0776)36-8480	
春江	支店	(0776)55-1618	
三金	支店	(0776)51-0089	
丸津	支店	(0776)81-3141	
松岡	支店	(0776)73-0222	
勝山	支店	(0776)66-2010	
大野	支店	(0776)61-0063	
鯖江	支店	(0779)88-1576	
神明	支店	(0779)66-3650	
	支店	(0778)51-2870	
	支店	(0778)52-6500	
今 立 支 店 (0778)42-2030			
武生	支店	(0778)24-3210	
村国	支店	(0778)23-9290	
シビ	支店	(0778)22-8555	
越前	支店	(0778)37-1022	
敦賀	支店	(0770)22-5522	
美浜	支店	(0770)32-1137	
三方	支店	(0770)45-0078	
上中	支店	(0770)62-0031	
小浜	支店	(0770)52-2910	
高浜	支店	(0770)72-1311	
石 川 県			
小松	支店	(0761)22-7373	
金沢	支店	(076)262-0266	
京 都 府			
舞鶴	支店	(0773)75-1290	
東舞鶴	支店	(0773)62-4603	
京都	支店	(075)231-6171	
大 阪 府			
大 阪	支 店	(06)6352-5051	

お問い合わせ先一覧

お 問 い 合 わ せ 内 容	連 絡 先	受 付 時 間	
WEBバンキング	インターネットバンキングセンター 0120-898-294 (0776)21-2828	平日	9:00~17:00
住宅ローンなどローン全般、投資信託、医療保険、個人年金保険、年金お受取りのご相談	ゆめプラザ四ッ居 0120-683-294	平日(水曜定休) 土・日・祝日	9:00~19:00 10:00~17:00
ローン申込み、お問い合わせ	コールセンター 0120-687-294	平日	9:00~21:00 9:00~17:00
キャッシュカード・通帳の紛失	お取引店	平日	8:45~17:00
	自動機監視センター（上記以外） 0120-013-294	365日	24時間
偽造・盗難キャッシュカード被害に関するご相談	お取引店 顧客サービスセンター (0776)25-5127	平日	9:00~17:00
ご意見・ご要望			